

# 情報共有・連携深める

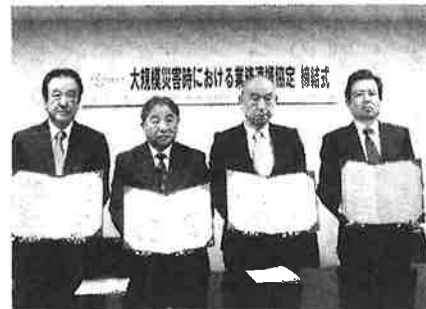
## シビルスリー協定締結式

建コン協近畿ら

建設コンサルタンツ協会近畿支部など4団体による業務連携「CIVIL3（シビルスリー）」の協定締結式が18日、大阪市にある同支部事務局で開かれた。

同支部の兼塚卓也支部長を始め、関西地質調査業協会の小宮国盛理事長、滋賀県測量設計技術協会の田中伸明会長、大阪府測量設計業協会の北川育夫会長が出席、協定書を交わした。

協定式で兼塚支部長は「昨年は災害が多かったが、シビルスリーのような連携の動き

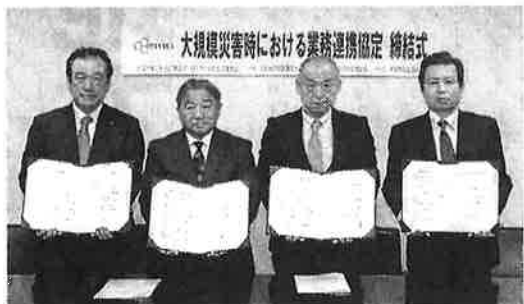


左から田中会長、兼塚支部長、小宮理事長、北川会長

は他の地域では見られない独自の活動。こつした対応をもっと広く知らしめていきたい」と述べ、認知度向上や団体間での連携・情報共有に引き続き取り組むとした。

また大阪府測量設計業協会の北川会長は災害時の情報共有手段としてスマートフォン用のアプリケーション開発を進めていることを明らかにし、将来的にシビルスリーでも活用していきたいとの考えを示した。

シビルスリーは15年にスタート。協定の形骸化を防ぐため自動更新はせず、内容を確認し、締結式を毎年実施している。近畿地方整備局など発注機関からの要請に基づき、災害発生時に被災状況の把握や迅速な応急復旧などに4団体が連携し対応に当たる。昨年は7月の西日本豪雨や9月の台風21号の際にリエゾンを派遣した。



左から兼塚支部長、小宮理事長、北川会長、田中会長

### 建コン協近畿、関西地質調査業協会、滋賀県測量設計技術協会、大阪府測量設計業協会

建設コンサルタンツ協会（建コン協）近畿支部（兼塚卓也支部長）と関西地質調査業協会（小宮国盛理事長）、滋賀県測量設計技術協会（田中伸明会長）、大阪府測量設計業協会（北川育

夫会長）は18日、大阪市中央区2012年から7年連続で緊急の建コン協近畿支部で大規模災害時の業務連携（CIVIL3）協定（更新）の締結式を開いた。協定は2015年3月31日に締結したが、形骸化を防ぐために毎年協定を結んでおり、今年が5回目となる。

当協会が運営する災害情報シス

## 大規模災害時連携協定を更新

「CIVIL3（シビルスリー）」は認知度の向上を図る目的で名付けた活動名称。数字の「3」は調査、測量、設計を意味し、毎年9月に合同で南海トラフ地震防災図上訓練を行うなど連携を深めている。

協定締結式で、田中会長は「滋賀県との災害協定に基づき

員の増強に力を入れている。少しでも仲間を増やし、今後の大規模災害に備えていきたい」と語った。兼塚支部長は「昨年7月の西日本豪雨災害、9月の台風21号災害ではCIVIL3として初めて近畿地方整備局にリエゾンを派遣した。CIVIL3の活動は5年目に入るが、これを続けていくことが災害時に素早く動ける体制づくりにつながっていく。活動の意義や有効性などを近畿以外の地域にも発信していきたい」と話した。

4団体は大規模災害発生時に連携し、関係行政機関に協力してその能力を最大限に発揮するという協定の趣旨や連絡体制を

「人手不足が課題となっており、一昨年から会

再確認した後、協定書に署名し